

平成30年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

午前の部

【第11問】

- 問1 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識
- 問2 内分点の座標値を求める計算の基本的知識
- 問3 2直線の夾角を求める計算の基本的知識
- 問4 座標法による面積計算の基本的知識
- 問5 図面の正確な作成

午後の部

【第21問】

- 問1 既知の座標値を用いた座標値の算出
- 問2 筆界の定義に関する正確な知識
- 問3 土地の一部地目変更・分筆の登記の申請書の記載に関する正確な理解
- 問4 地積測量図の正確な作成

【第22問】

- 問1 建物の合体の定義及び合体による登記等の申請書の記載に関する正確な理解
- 問2 主である建物と附属建物が合体した場合の登記の申請に関する正確な理解
- 問3 建物図面及び各階平面図の正確な作成